

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

第4号

平成26年7月1日
責任者 野正
発行 藤野
副住職 (副)

副住職の仏々 (ぶつぶつ)

皆さん、こんにちは。今年も半分の折り返し地点を迎え、孟蘭盆会の案内をお知らせする時期になりました。時が過ぎるのは早いなあとと思うだけでなく、この半年に自分が行ってきたことを顧みて、今この瞬間、そして未来へ向けて、今やるべき事をコツコツとこなして行きたいものです。と云うの

孟蘭盆会

例年通り、孟蘭盆会法要が厳修されます。法要後、ご好評頂いております浅草・緑泉寺の青江覚明先生のご法話があります。是非お誘い合わせの上、ご参詣ください。また、駐車場には限りがありますので、なるべくバスをご利用ください。(以下、バス時刻表)

開山四百年!

正山寺の創立は元和元年九月朔日(1615年9月1日)であり、来年に開山四百年を迎えます。昨年からは総代世話人において、五回を数える話し合いが行われ、この度、記念事業内容についての同意を得るに至り、今回、趣意書を同封させて頂くことになりました。事業内容や寄進勧募についての詳細は、趣意書をご覧頂くとして、ここでは、私の思いの丈を述べさせて頂きたいと思えます。

丁度二年ほど前になりますが、未来の住職塾なる若手のお坊さんが集まる塾に参加しました。現状のお寺の将来に不安を抱く住職・副住職さんが多数参加され、自坊の現状を真剣に見つめ、より良いお寺にしていくためのヒントを得るなど、良い刺激・経験をさせて頂きました。正山寺は、お陰様で今のところ特に将来に不安がある訳ではないのですが、世間で良く言われている様に、社会情勢、地域・家族関係の急激な変化を感じずにはおられません。このような状

況の中で、現状に安住するのではなく、お寺も変わっていく必要があると思ひ、参加させて頂きました。その中で特に参考になったのは、顧客(お寺で言うと檀家さんや参詣者など)目線の大切さです。お寺の中にいると、中々皆さんがお寺に対してどう思われているのかが見えてきませんが、何をお寺に期待しているかを真剣に調査・検討し、それを反映させていくことが大事だと言うことです。

今回、それらを踏まえた上で、心を込めて趣意書を作らせて頂きました。皆様あつての正山寺です。この開山四百年という大きな節目をキツカケとして、皆様のお寺と

思つて頂けるよう、正山寺も変わつていかなければなりません。是非とも、趣意書にご賛同頂き、全幅なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八月三日(日曜)

午後一時から三時まで

■町田駅バスセンター発

小山田行

(行き) 十二時十二分

(帰り) 三時 十分

■淵野辺駅北口前発

小山田はなみずきの丘行

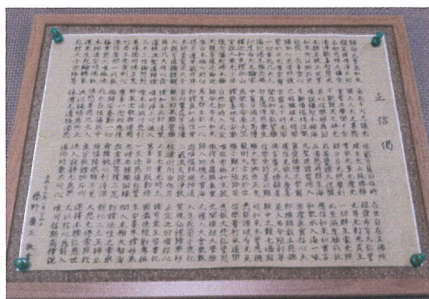
(行き) 十二時二十分

(帰り) 三時十八分

※小山田停留所でお降り下さい。

月例会

正山寺では、月一回(火曜)、皆様との交流の場として、月例会(法話や写経)を行っております。遠慮なくご参加下さい。(無料)なお、初めての方は、電話やメールにてお問い合わせ下さい。



※最新作の「正信偈」一枚収めです。コルクボードに貼り仕上げました。毎回趣向を凝らした写経を行っています。お気軽にご参加下さい。

■日程
(平成二十六年)
九月 九日 午前九時三十分から
十月 十四日 十一時三十分まで
十二月 九日
(平成二十七年)
一月 十三日
■場所
正山寺庫裏

※八月と十一月はお休みです。

■写経会参加者のご紹介

写経会初期の頃から参加されているお二方を紹介します。

【國分清子さん】家事はもちろん、歌やダンス、仕事の手伝い、近所のお年寄りの面倒など、忙しくも充実した日々を送られている元気な女性。元気の秘訣は「自分を賞めること(笑)」だそうです。来られる度に元気を貰っています。「宮川功さん」最近、グランドゴルフや男の料理にはまっているそうです。町内会でも活躍され、いつも朗らかで笑顔のステキな方。お二方ともお寺という特別な場所ので集中して写経出来ることを楽しんでいる様子。



※2年にも渡る大作「歎異抄」の和綴じ本の完成を成し遂げられたお二方。マイ「歎異抄」本とともにステキな笑顔を見せてくれました。お疲れ様でした。

副坊守のコラム

私事ですが、我が家の息子も六月で二歳になりました。とても元気で食欲旺盛。話す言葉は、あまり出てきませんが、こちらの言葉は、だいが理解して、意思疎通が出来るようになってきました。玄関のチャイムに反応して、我先にと玄関に走ったり、座布団と一緒に片付けようとしていたり、頼もしくなってきました。お声をかけて頂くことも多く、あまり人見知りをすることもない様子です。看板娘ならぬ、看板息子として、今後も皆さんにお会いする機会も増えるかと思えます。バタバタと走り回ったり、イタズラも多いのですが、皆様にも成長ぶりを見守って頂けたら、嬉しく思います。



※藤野大地です。どうぞよろしくお願ひします。

あとがき

無事に「ほっ寺通信」も、第四回目を数え、一歳を迎えました。大地(息子)も先月二歳を迎え、寺報と共に成長を楽しみにして頂ければ幸いです。大地の様子は、これからも副坊守のコラムにて登場予定ですので、お楽しみに(笑)。さて、今回の大きな話題は、来年の開山四百年記念事業の件でしょうか。この記念すべき開山四百年を皆様と共に大いに盛り上げて、今後の正山寺の興隆発展の礎にして行きたいと思っております。是非共ご協力の程、よろしくお願ひ致します。(副住職)

寺報「ほっ寺通信」第4号
浄土真宗東本願寺派
野中山 正山寺

住職：藤野有慶
副住職：藤野慶正(発行責任者)
住所：〒194-0201 町田市上小山田町1504
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net

正山寺開山四百年記念事業 勸募のお願い (趣意書)

檀信徒の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当山護持の為、何かとお力添えを頂き誠に有り難く御厚礼申し上げます。

さて、寺報(ほつ寺通信)等でお知らせしている通り、来年(2015年)には正山寺開山四百年を迎えます。開基祐玄により元和元年(1615年)に創立して以来、現住職有慶まで十三代を数えます。この記念すべき開山四百年にあわせて、記念事業を行い、

来年平成二十七年十一月一日(予定)に正山寺開山四百年記念法要を行うことになりました。

現住職においては、庫裡・本堂新築、境内・墓地・駐車場整備等、幾多の大事業を皆様と共に成し遂げ、今日の正山寺興隆の源となっております。この度、現住職も高齢(今年七十七歳)となり、本人の希望もあつて、現副住職慶正が住職継承することとなり、開山四百年記念法要に住職継承法要も兼ねさせて頂く運びとなりました。また時節から、当山報恩講法要も併修させて頂きます。

思えば現住職の悲願であつた本堂新築(1987年)から来年で二十八年を数えることになりましたが、大きな問題もなくこの開山四百年を皆様と共に迎えられることの喜びは一入で御座います。この開山四百年に相応しい記念事業にするべく、総代世話人会にて話し合い、この度、正山寺開山四百年記念事業のお知らせと勸募のお願い(趣意書)をさせて頂くことになりました。

檀信徒関係者各位におかれましては、この経済状況厳しい中、寄進勸募をお願いするのは誠に心苦しいのですが、これまでの先人の御威徳への感謝とご自身の善根功德の為、またますますの正山寺の興隆発展の為、何卒趣旨にご賛同頂き、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

一、記念事業内容

①親鸞聖人立像(等身大)の新設

本堂右側に宗祖親鸞聖人の立像を設置し、その御威徳を永代に渡って伝えます。

②屋外休憩所(四阿※あずまや)の新設

休憩所前に気軽に休憩頂ける総檜造りの屋外休憩所(四阿)を設置します。

③既存休憩所の改修

少々閉鎖的な(入りにくい)既存休憩所を開放的で使い勝手の良い休憩所に改修します。それに伴い、各種催し(イベント)の開催や、仕出し業者を選定し週末に組数を限定してお齋の場の提供も検討しています。

④本堂境内の補修・整備

本堂・庫裡の畳替え、テーブル等の新調、本堂正面及び左側面の木部洗浄保護、本堂周辺の欄干の補修、水道設備の新設、墓地参道の危険な箇所への手すり・柵の設置などを行います。(一部施行済み)

⑤永代供養墓の新設と既存納骨堂の改修

本堂左側面に永代供養墓を設置(遺骨は本堂地下安置)し、既存納骨堂とともに、運用形態を一新します。(詳細は追ってお知らせします)

(裏面に続く)

二、勸募の事業範囲と目標寄進総額

一の記念事業内容の内、①から③までを勸募の事業範囲とし、
目標寄進総額は、二千万円とします。(総檀家数約九百軒)
不足分については、当山において充当します。

※④と⑤に関しては、当山において充当する予定ですが、寄進額に余剰が出た場合に限って、
余剰額を④に充当することをご了承下さい。

三、檀信徒一軒当たりの寄進額

一口一万円、できましたら、二口(二万円)以上のご寄進を賜りますようお願い申し上げます。

また、総代世話人会での話し合いにより、

維持費三千元(信士扱い)の方は、二口(二万円)以上

維持費五千元(居士扱い)の方は、三口(三万円)以上

維持費七千元(院号扱い)の方は、五口(五万円)以上

のご寄進をご検討頂ければ幸いです。(強制ではありません)

※ご寄進頂いた方は休憩所の然るべき処にご尊名とご寄進額を掲示させて頂き、記念品をお贈りします。

四、寄進申込

同封の葉書に必要事項を記載して頂き、平成二十六年十二月三十一日までにお出し下さい。

納入方法に関して、郵便局へ送金を選択の方は、追って郵便局の手数料無料の
払込用紙をお送りさせていただきますので、お近くの郵便局より送金して下さい。

直接持参を選択の方は、当山へお寄りの際、直接お持ち下さい。(領収書発行)

世話人委託を選択の方は、担当の世話人様にお預け下さい。(領収書発行)

※ご寄進を申し込まれた方は、葉書を出されてからなるべく三ヶ月以内に納入されますようお願い申し上げます。

合掌

平成二十六年六月吉日



親鸞聖人立像の完成イメージ図



屋外休憩所(四阿)の完成イメージ図

記念事業実行委員会

住職	藤野	有慶
副住職	藤野	慶正
責任役員	細谷	朝日
総代	小山	率正
同	篠野	行雄
同	細谷	清
同	小山	忠利
同	細谷	隣
他	世話人	一同